



松溪中図書館だより

2020年9月
杉並区立松溪中学校
学校司書 新木

特集！ 8/30～9/5は防災週間 & 「好き」から始まる読書

大正12年9月1日、関東地方を中心に甚大な被害をもたらした関東大震災が発生しました。9月1日を「防災の日」としたのは、この関東大震災が発生したことや、台風シーズンを迎える時期であることが主な理由とされています。

(注)関東大震災の死者・行方不明者は約10万5千人

阪神・淡路大震災が舞台の小説

『翔ぶ少女』 原田マハ/著 ポプラ社

主人公の少女ニケは、神戸の震災でパン屋を営む両親を亡くします。孤児となったニケ、兄、妹の3人は、助けてくれた心療内科の医師・ゼロ先生と家族となって仮設住宅で暮らします。迫りくる火の手から大切な人を守れず、また、復興のさなか孤独死する人を目の当たりにし、絶望感を感じ、学校でも居場所が見つからないニケ。一方、隣人と助け合ったり、先生に付き添ってボランティアをしながら、お互いが元気になっていくことを実感します。人を思いやる優しさや、人間の強さを感じる本です。

関東大震災が舞台の小説

『風立ちぬ 美しい村・麦藁帽子』
堀辰雄/著 角川書店

思春期の淡い恋心を描いた「麦藁帽子」には、関東大震災のエピソードがあります。ジブリ映画『風立ちぬ』の中の震災のシーンなども、「麦藁帽子」から着想を得ているそうです。

東日本大震災が舞台の小説

『浅田家』 中野良太/著 徳間書店

一枚の写真の子カラを信じ、テーマごとにコスプレをした「家族写真」を撮り続けた実在の写真家と、それを支えた家族との絆を描いた映画の小説版。大震災が起こり、浅田は知人の安否確認で被災地に出向いますが、全てを失った人々の姿を目の当たりにし…。

映画化

東京
防災

『東京防災』
東京都総務局総合防
災部防災管理課/編
東京都

東京の多様な地域特性、都市構造、都民のライフスタイルなどを考慮して作られた完全東京仕様の防災ブック。

P173 防災おさらいクイズより

Q. 土砂災害の前兆を3つ挙げよ。
(答え) 152ページ

P234 地域でやろう防災イベントより

Q. 停電して明かりがありません。どうやったら、照明を作れるでしょうか。
(材料)懐中電灯・白いポリ袋・ペットボトル・水
(答え) 206ページ

今こそ防災について
読もう・知ろう・語ろう

『72時間生きぬくための101の方法』 夏緑/著

子どものための防災BOOK。災害が起こったらまずすること、落ち着いたらすることに分け、わかりやすく解説されています。

『もしもに備える食』 清流出版
石川伸一・今泉マユ子/著

食べることは生きるために不可欠です。災害時のための備蓄や防災グッズの紹介はもちろん、体と心に栄養を与えるためのレシピやアイデアも紹介されています。

『にげましよう』
河田憲昭/著
*逃げるタイミングが大切!

災害・防災に関する本

『震災対策マップ』
首都圏版

『紙つなげ! 彼らが本の紙を造っている』 佐々涼子/著 早川書房

東日本大震災で被災した日本製紙石巻工場。震災の絶望から、工場の復興までを徹底取材した傑作ノンフィクション。

『想像ラジオ』 いとうせいこう/著 河出書房

DJアークが木の上から夜中に語りかける想像上のラジオ番組。生きている人と亡くなった人が届かなかった言葉や声を想像力の電波で飛ばし、それを聴く。悲しみに寄り添ってくれる、震災がテーマの本です。

『心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師 ～思い出が動きだす日～』

今西乃子/著 金の星社

思い出は宝物。この本は、亡くなった家族の一番良い顔を思い出してほしいという思いから、被災地で遺体復元のボランティアをしてきた納棺師の記録です。

『高校生、災害と向き合う——
舞子高等学校環境防災科の10年』

諏訪清二/著 岩波書店

「環境防災科」をもつ高校の生徒が災害と向き合い成長する姿を描いた本です。ボランティアに興味ある人にオススメ。

『アポリア あしたの風』

いとうみく/著 童心社

2035年、首都圏で大地震発生、津波が襲います。引きこもりだった中学2年の一弥を中心に、大切な人を残して避難するしかなかった人たちの苦しみ、葛藤が描かれています。一弥は生きる意味を見出せるでしょうか。



図書館からのお知らせ

- ・夏休み貸出の本の返却期限は9月4日です。
- ・2学期も、三蜜を避け、手の消毒マスク着用などを意識し、利用してください。

※新しい授業形態を取り入れた図書館



*シールドを設置



7月31日 2年生
国語科授業の様子



8月5・6日 全学年
紙芝居動画鑑賞の様子

図書委員企画、
真夏のおはなし会、
「ハーメルンの笛吹き」
はいかがでしたか。
2学期も密にならない
方法でイベントを検討
します。お楽しみに！

こんな本も読んでみては？

『ハーメルンの笛吹き男—伝説とその世界』
阿部 謹也／著 筑摩書房

紙芝居の最後でも語られたように「ハーメルンの笛吹き男」の伝説は、1284年ドイツのハーメルンで約130人の子どもが集団失踪した未解決事件がもとになっているそうです。この本は当時の社会的背景や多くの資料から、その謎に迫っていきます。世界史に興味ある人は是非。

※図書館のPCシステムが新しくなりました →利用者コードが変わります。

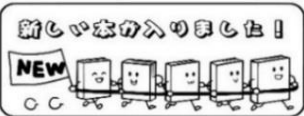
以前発行した図書館利用カードは、新しいものに交換します。希望する生徒は、9月4日までに図書委員に古いカードを渡してください。

9月5日 中央図書館 リニューアルオープン

杉並区立図書館の中心的役割を担い、区の図書総数の約3分の1を所蔵管理しています。松溪中では、調べ学習の際、資料を団体貸出、していただいています。

*「調べ学習コンクール」参加募集中。
締め切り 9月24日(木)必着

*毎年秋に「本の帯コンクール」を開催、
作品を募集しています。挑戦してみてください！



他にもあります
*リ...リクエスト



	書名	著者名	出版社	一言コメント
366	僕たちはなぜ働くのか 上・下巻	池上 彰／監修	学研	なりたい職業を考える同時に、特にこんな時代だからこそ「働くこと」の決まりを知っておくことは大切です。バイト編では、「お金をもらって働くから仕事を優先すべき?」など身近な疑問にも答えています。
366	10代からのワークルール 1~4巻	上西 充子／監修	旬報社	
366	5分でわかる10年後の自分 2030年のハローワーク	図子 慧	KADOKAWA	
367	どうしたらいいかわからない君のための人生の歩きかた図鑑	石井 光太	日本実業出版社	
536	風を切って走りたい!	高橋 うらら	金の星社	夢をかなえるバリアフリー自転車
594	青春ハンドメイド 全3巻	—	学研プラス	1巻.スチューム 2巻.アイテム 3巻.インテリア自分で作って、スクールライフを楽しもう!
913	アポリア あしたの風	いとう みく	童心社	
913	13歳のシーズン	あさの あつこ	光文社	13歳の男女4人グループの青春小説
913	仮面病棟	*リ 知念 実希人	実業之日本社	村から村へ、芸を見せながら熊と旅をしてまわる(熊おじさん)。そして夜になるとおじさんは、火のそばでたくさんのお話を聞かせ角笛を吹きました。心に響く話です。
913	浅田家	中野 量太	徳間書店	
913	都会のトム&ソーヤ 16.5 外伝	*リ はやみね かおる	講談社	
943	熊とにんげん	ライナー・チムニク	徳間書店	
B913	記憶屋 2・3巻	*リ 織守 きょうや	KADOKAWA	ピアニストを目指す16歳の暎は、ある日火災に見舞われ一人生き残ります。音楽×ミステリー
B913	さよなら ドビュッシー	中山 ヒ里	宝島社	